

あたま 市議会だより

第37号
平成31年
2月8日

平成31年2月定例会主な日程

- 2月22日(金) 本会議(議案上程) 10:00~
- 3月6日(水) 本会議(質疑・一般質問) 10:00~
- 3月7日(木) 本会議(質疑・一般質問) 10:00~
- 3月8日(金) 広域行政推進特別委員会 10:00~
公共施設整備等特別委員会 13:00~
- 3月11日(月) 観光建設公営企業委員会 10:00~
- 3月12日(火) 総務福祉教育委員会 10:00~
- 3月14日(木) 本会議(審議採決) 10:00~

※日程は変更になる場合がございます。

- P2~7 平成30年11月定例会 質疑および一般質問(要旨)
- P8 議会のはてな?
- P9 平成30年11月定例会 議決結果・各委員長報告
- P10~11 議会だより編集委員会
- P12 議会からの報告・お知らせ

平成30年11月定例会について

11月定例会は、11月29日から12月18日まで20日間の会期で開催し、議案5件、報告4件、同意2件、諮問1件について審議し原案のとおり可決等されました。

表紙写真：熱海梅園の様子

発行 熱海市議会 編集 議会だより編集委員会

〒413-8550 熱海市中央町1-1 TEL 0557-86-6644 FAX 0557-82-7287

E-mail gikai@city.atami.shizuoka.jp

※定例会の内容は、熱海市議会ホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。<http://www.city.atami.lg.jp/shigikai/index.html>



せんみょうじ 泉明寺みずほ 議員

自民党・公明党・女性の会
熱海梁山泊

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会
(副委員長)
広域行政推進特別委員会

※シビックプライド(都市に対する誇りや愛着)について
熱海高校と本市の協働について／防災について

質問 最高の観光地とは市民が自分の暮らして誇りを持てるかであり、「住みたい街」かどうかが問われる。この「シビックプライド」がある地域こそが最高の観光地」という概念を行政は認識しているか。

答弁 非常に重要である」と認識している。

質問 住まう街としての観光の方向性は、先人が残し積み上げてきた文化、芸術、温泉の科学的効果にもっと光を当て市民が自覚することから始まると考える。学ぶための観

光需要が生まれることは本市にとってプラスのイメージではないかと思うがどうか。

答弁 歴史や文化に接し理解を深め発信することに繋がれば、観光のイメージに厚みを増すことにもなる。

質問 熱海高校を中心に、各団体と協働して熱海高校の魅力向上への取り組みを行うとともに、本市に貢献できる人材を育成する事業も展開していくという件について現状の報告を。

答弁 一年生を対象とした総合学習として

「熱高ラボ」事業を実施する。

要望 高校は県の管轄だからと二の足を踏むのではなく「住まう街」としての施策を進めていく上でも、本市の積極的な介入を求め

質問 他市町の事例を研究して、分かりやすい防災マニュアルの整備が必要と感ずるが、見直しを考えないか。

答弁 情報収集に努め「防災ガイドブック」をはじめ、見直すべきところは修正する。

交通事故に係る損害賠償の額の決定
及び和解について

質問 過去3年間で職員が起こした交通事故は何件あり、和解に要した費用はいくらか。

答弁 平成27年4月から今定例会までに市職員の起こした交通事故は13件あり、和解した損害賠償の額は301万余円となっている。

質問 定例会が開催されるたびにこの報告が出てくる。その要因は何か。

答弁 発生要因の大半は、運転の未熟さや注意力散漫による。毎年交通事故防止や飲酒運転防止の徹底を図るため研修会を実施しているが、結果に結びついていない。交通安全に対する意識の徹底を図り、交通事故の未然防止に努めたい。

質問 職員の仕事に向き合う姿勢、モチベーションに起因しないか。

答弁 交通事故発生が繰り返されるのは個人の運転技術や注意力散漫だけでなく組織の目標として交通事故故ゼロを訴えるなど、全庁的に情報共有がされてこなかったことも一因と考える。このような積み重ねが影響を与えたことは否定できない。

質問 職員が目指すべきまちの将来像を共有して自分の仕事に矜持を持って向き合う体制が必要ではないか。

答弁 10年間で職員数は63人減少し、事務負担は増えてコミュニケーションの不足も懸念される。今以上に矜持を持ち、目指すべき将来像を共有することは行政運営をしていくうえで一層重要になると考える。



すぎやま とし かつ 杉山利勝 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

観光建設公営企業委員会
公共施設整備等特別委員会

※ ____で表記されている言葉については、P8の解説を御参照ください。

質 疑 一 般 質 問

【答弁】 熱海市浄水管理センターについては、台風の高波により大量の海水がセンター外周部の土砂を巻き上げながら外壁や窓を破ってB系水処理棟などに流入し、建屋内の機械設備や電気設備が大きな

【質問】 本市は障がい者のための施策を今後どのように考えているのかうかがう。

【答弁】 障がい者の現状は、近年身体障がい



浄水管理センター被害の様子

者は若干減少しているものの、知的障がい者や精神障がい者は増加傾向となっている。また、障がい者、障がい者を支える親・配偶者など支援者の高齢化が進んでいる。以前にも増して支援の必要性が高まっていると認識している。その一方で、市内には身体や知的に特化した相談支援事業所がないことに加え、入所施設や短期入所施設もない状況である。今後、必要な環境を整備していくにあたり、関連事業所や事業者などと協議を行っていきたいと考えている。

【質問】 台風による被害が発生し、復旧が行われると思うが、今後のことも考えて復旧工事をどのように行うのか。例えば被災した熱海港の復旧工事についてはどのように行い、今後の災害による被害を減らすのか。その方策についての考えをうかがう。

被害を受けた。復旧には海水の流入による被害を防止するための災害復旧工事の実施に併せ、護岸の嵩上げも行う。

者は若干減少しているものの、知的障がい者や精神障がい者は増加傾向となっている。また、障がい者、障がい者を支える親・配偶者など支援者の高齢化が進んでいる。以前にも増して支援の必要性が高まっていると認識している。その一方で、市内には身体や知的に特化した相談支援事業所がないことに加え、入所施設や短期入所施設もない状況である。今後、必要な環境を整備していくにあたり、関連事業所や事業者などと協議を行っていき

浄水管理センターの復旧工事について 障がい者に対する今後の施策について



いざわ ともかず
井沢共一 議員

日本共産党

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会

公共施設整備等特別委員会
(副委員長)

誰もが憩える飲食店のタバコ喫煙について 中野地区市道栗林1号線の全面開通について



こもり たかまさ
小森高正 議員

熱海進政会議員団

◆ 所属委員会 ◆

観光建設公営企業委員会
広域行政推進特別委員会
(委員長)

【質問】 タバコを嗜まれる方もいれば苦手な方もいる。双方が市内の飲食店を利用し共有しやすい空間を、できる限り創出し、昼夜の賑わいを醸しだせば売り上げアップにつながると思う。空気清浄機や新たな換気扇設置の支援は考えられないか。

【答弁】 厚生労働省において一定の基準を満たす喫煙室等の設置にかかる経費に對して助成する受動喫煙防止対策助成金制度を設けているが、個人事業主等には対応していない。効果や技術的な面を含めて検討していきたい。

【質問】 中野かじかわ公園下の市道栗林1号線は、現在工事がストップしたまま放置されている。この工事を早期に開始することは出来ないのか。

【質問】 タバコを嗜まれる方もいれば苦手な方もいる。双方が市内の飲食店を利用し共有しやすい空間を、できる限り創出し、昼夜の賑わいを醸しだせば売り上げアップにつながると思う。空気清浄機や新たな換気扇設置の支援は考えられないか。

【答弁】 道路整備は必要であるからこそ行うものであり、地域住民や観光客の利便性向上につながると思うが、道路整備には多額の費用と期間が必要であり、財源確保が重要である。これらを踏まえ、計画的に行っていきたいと考えている。





かなもり かずみち
金森和道 議員

熱海進政会議員団
◆ 所属委員会 ◆
観光建設公営企業委員会
公共施設整備等特別委員会
(委員長)

※民泊について 防犯カメラの設置について

質問 本市では、民泊の状況はどのようになっているか。ゴミ出しのルールや騒音問題等に、本市ではどのような対応ができるのか。消防法上どのような安全が担保されているのか。入湯税を含めた税の面はどのようになっているのか。

答弁 ゴミ出しや騒音の苦情には、状況確認を行い、管理者等に改善をお願いする。また、消防法上は規模等により消火器、自動火災報知設備等が必要になる場合がある。入湯税は、鉱泉浴場におけ

る入湯行為者に課す税であり、11月末現在鉱泉を使用する施設は存在しない。入湯税以外では、市県民税、固定資産税、都市計画税の納税義務者となる。

質問 近年一般の方々が事件・事故、犯罪に巻き込まれるケースを耳にする。防犯カメラが学校施設にも設置され、今後は一般的な家庭にも犯罪等の抑止力向上のために、設置・購入に向けた補助等はできないか。

答弁 現在、本市において家庭用の防犯カメラ設置に関する補助

制度はない。まずは地域全体の安全安心の確保の観点から、町内会等による地域での防犯カメラの設置に関し、支援のあり方を含め総合的な仕組みづくりに取り組んでいくことが肝要であると考えている。



※地域包括ケアシステムについて 市営住宅駐車場の利活用について

質問 本市が目指す※地域包括ケアシステムの姿と現在の取り組み状況を尋ねる。

答弁 高齢化・核家族化・労働力の減少が同時に進んでいくなかで、高齢者の尊厳ある暮らしを守っていくためには、これまでの「長期入院型の医療」や「施設収容型の福祉」を変え、医療や介護、さらには住民参加型の支えあいが必要。近な地域に展開されなければならぬ。しかし、本市では未だ枠組みが出揃ったばかりの段階であり、具体的な成果はこれから。各種事業が成果をあげるよう、マンパワーの投入や財政支援のあり方を含め効果的な事業展開を検討していく。

質問 今後の市営住宅への入居者数等入居環境の変化をどう予測しているか。

また、使用頻度の少ない市営住宅用駐車場を、民間用駐車場として活用することを考えないか尋ねる。

答弁 熱海市公営住宅長寿命化計画及びストック計画において、今後13ヶ所43棟までにする目標であり、5年後の入居者数は700世帯程度まで減るものと考えている。また、市営住宅敷地内の駐車場は空きが見られる。今後も駐車台数の大幅な増加は見込まれないと思うので、空きスペースの活用方法について入居者の方にご不便を掛けない範囲で検討していく。



よね やま ひで お
米山秀夫 議員

自民党・公明党・女性の会
熱海梁山泊

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会
広域行政推進特別委員会

※___で表記されている言葉については、P8の解説を御参照ください。



あか こういち
赤尾光一 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会
公共施設整備等特別委員会

福祉マップについて 初島の遠隔診療について

質問 本市には、高齢者や障がい者に対する福祉マップなどは存在するののか。

答弁 高齢者や障がい者に特化したマップというものは特に用意されていない。

質問 同じ温泉地である、松山市には「バリアフリーマップ」が存在している。※タイパシステイ宣言をした我がまち熱海にも必要と思われるがいかがか。

答弁 松山市の取り組みについて、ホームページで確認した。福祉行政を進めていく上で参考になる事例であると思うので、研究し

ていきたいと思う。

質問 初島診療所には先生が今後も必ず必要であると思われるが、診療を担う先生達の負担を少しでも軽減するために、最近注目されている遠隔診療が、離島である初島には適していると思われるがいかがか。

答弁 診療時間外や医師が悪天候で診療に行けない場合など、遠隔診療は現在の診療体制を補完する意味で有効であると考ええる。

質問 遠隔診療に必要なケーブルを、そう遠くない時期に布設替えする水道管工事の時

に併せて行うことはできないか。

答弁 水道管の布設替え工事は、一つの良いいタイミングであるので、議論していく価値はあるものと考ええる。



初島全景

落書き防止について

公共交通の利用が困難な地域への支援について

質問 本市は熱海市落書きの防止に関する条例の第4条に基づき、本市が配布した落書き防止マニュアルに記載されている対策を積極的に行っていく必要があるかどうか。

答弁 市民生活における安全安心の鍵は、落書き等を含めた機会犯罪が発生しにくい「まちづくり」にあると考える。これを実現するために、防犯灯などの整備された道路や防犯面を充実した施設の整備、市民が地域の安全安心の確保に向けて、行政や警察、各種事業者と協力し、自主的に防犯活動を行い、当該地域の体感治安を改善することが必要かつ重要であると考え

質問 交通機関の利用が困難な方への対応については、地域住民がまず主体的に検討して欲しいとの答弁

だが、何か言ってくるまでは本市は何もしないということか。それとも何か具体的に考えていることがあるのか。

答弁 平成32年度末を目標に「立地適正化計画」の策定作業を行っている。この中で、居住や都市機能を集約する地域を明確化することを目指しており、そのためには各地域や各種機能を公共交通で繋ぐことが必須となるので、将来の公共交通のあり方全般についても、皆様と相談する必要がある。地区別懇談会なども検討しているので、地域の皆様とより良い解決策を検討したいと考えている。



落書きの様子



わだ しょうへい
和田翔平 議員

熱海進政会議員団

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会
広域行政推進特別委員会

高齢者の外出支援について



たけべ たかし
竹部 隆 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会
公共施設整備等特別委員会

質問 高齢者への外出支援策としてのタクシー等利用助成券交付事業実施について、9月定例会でも質問したが、その際は、外出目的が無ければ外出の動機に結びつかないと答弁された。高齢者でも外出する時は自分の意思で外出を考える。そこに※サロンがあれば出かけるし、イベントなどがあれば寄ってみたいと思っている。これまで様々な外出支援策を試行又は実施して継続できなかった原因は何か。検証結果と、またその結果から今後取り組むべき施策は何

か尋ねる。

答弁 過去に行った施策は、閉じこもりがちな高齢者を対象に外出対策を講じた。平成28年度には外出支援バスの試行を行ったが、外出目的がなければ外出しないことがわかった。利便性を公的な制度のもとでは確保できないこと、地域の方々の主体性も重要な点であると認識した。今後の外出支援策は、交通手段の提供や乗り物に対する対価の助成等ではない、閉じこもり高齢者が外出する目的を創出することが重要であると認識し、※地域

サロンなどの身近な、歩いて行ける居場所づくりに関する施策が必要であると考えている。**要望** 閉じこもり高齢者への対応と他の高齢者の外出支援は別の問題として対策を講じてもらいたい。



教職員の※働き方改革で残業を減らせ

放課後児童健全育成事業の更なる発展を願って

質問 小中学校の教職員の過重な労働状態の改善のため、※働き方改革という施策が提起され、過労死にもなる月80時間以上に及ぶ残業をなくそうとの事だが、なかなか改善されていかなと聞く。本市の学校現場の残業の実態はどのようになっているか。

答弁 本市の小中学校教員の時間外労働の本年4月から10月までを集計すると、月80時間以上の割合は小学校で6%、中学校で14%となっている。文部科学省が実施した教員勤務実態調査と比較すると割合は少ないながらも、一定の割合の教員が過労死ラインに該当する状況にある。

質問 本市の放課後児童健全育成事業は、国がこの制度を法制化した平成10年

度から事業を始めたため、全国状況より遅れているように思う。子育て事業の中で、働く親にとっても子どもにとっても、極めて重要、大切な事業。本市のこの事業の現状を当局はどのように認識しているか。

答弁 保護者のニーズを踏まえ、開所時間の延長や開所日数が増加した。資格を持った支援員の配置の義務化により支援員不足という状況にあるが、放課後児童クラブ代表者と協議を重ね、改善に向け取り組んでいるところである。



やま だ はる お
山田治雄 議員

熱海進政会議員団

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会
(委員長)
公共施設整備等特別委員会

※___で表記されている言葉については、P8の解説を御参照ください。

質 疑 一 般 質 問

幼児教育の無償化について 空き家問題について



いなむらちひろ
稲村千尋 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆
観光建設公営企業委員会
(副委員長)
公共施設整備等特別委員会

質問 国は来年10月から幼児教育の無償化を目指す。国の無償化の範囲と市長の無償化の目的と内容は。

答弁 国は3歳から5歳の全ての子どものための利用料を無償化し、0歳から2歳の利用料は非課税世帯を対象に無償化する予定。本市は無償化となっていない0歳から2歳児の課税世帯についても、利用料を無償化したい。幼児の課税世帯の利用料を無償化した場合の必要財源は。

質問 財源や待機児童に課題があれば、2歳児から一部先行実施を。

答弁 今後、検討を進めていく中で参酌したい。



質問 平成25年の本市の空き家率は住宅総数3万8,040戸の50.7%に達し、全国平均の13.5%を遥かに超えている。本市の空き家のうち半数以上が別荘で、住宅総数の26.8%を占めている。15年後の日本は全住宅の3戸に1戸が空き家になると予測されている。本市として空き家対策の総合的窓口が必要では。

答弁 平成29年度末に「熱海市空家等対策計画」を策定し、問い合わせや相談はまちづくり課で行っている。

質問 空き家の売買や相続等をスムーズに進めるため、専門家との常設の相談体制を構築できないか。

答弁 恒常的な相談体制を目指したい。





質疑・一般質問の用語説明

各議員の質疑・一般質問記事の中で※——で表記されている言葉についての説明です。

P2 シビックプライド

シビック（市民の）+プライド（誇り）を合わせた言葉。課題解決や活性化といった具体的な行動への姿勢を含む言葉。

P4 民泊

旅行者などが、一般の民家に宿泊することを一般的に意味する。特に、宿泊者が対価を支払う場合に用いられる。



P4 地域包括ケアシステム

高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、尊厳の保持と自立生活の支援を目的とし、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体に提供される地域の包括的な地域の実情に合った体制のこと。



P5 ダイバーシティ

性別、価値観、ライフスタイル、障がいなどに拘らず多様な人材を積極的に活用しようという考え方のこと。

P6 サロン・地域サロン

高齢者の介護予防、生きがいづくり、閉じこもりの予防を目的としたもの。地域で気軽に参加できる場所で、昔からの知り合い、新しい仲間と趣味活動や体操をしながら支え合える地域づくりを行っている。



P6 働き方改革

「一億総活躍社会」を実現するための改革であり、少子高齢化が進むなか、労働力不足解消のための取り組みをいう。

11月定例会 議決結果（本会議）

〈 市長提出の議案等 〉

件 名	議決結果	件 名	議決結果
議案第60号 平成30年度熱海市一般会計補正予算(第4号)	可決(全員)	報告第13号 専決処分の報告について(家屋調査時における水道管の破損に係る損害賠償の額の決定及び和解について)	報告
議案第61号 平成30年度熱海市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全員)	報告第14号 専決処分の承認について(平成30年度熱海市一般会計補正予算(第3号))	承認(全員)
議案第62号 熱海市立姫の沢自然の家の設置及び管理に関する条例を廃止する条例	可決(全員)	報告第15号 専決処分の承認について(平成30年度熱海市下水道事業会計補正予算(第1号))	承認(全員)
議案第63号 指定管理者の指定について(熱海駅前自転車等駐車場)	可決(全員)	同意第8号 固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意(全員)
議案第64号 熱海市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決(全員)	同意第9号 公平委員会委員の選任について	同意(全員)
報告第12号 専決処分の報告について(交通事故に係る損害賠償の額の決定及び和解について)	報告	諮問第3号 人権擁護委員候補者の推薦について	異議なし

委 員 長 報 告

● 観光建設公営企業委員会

付託議案	審査結果	報告要旨
議案第60号 議案第63号	可決(全会一致)	台風12号の被害に伴う追加補正や、DMOの形成検討に係る業務委託料の増額補正など、他の付託議案とともに必要な措置と認める。
報告第14号 報告第15号	承認(全会一致)	必要な措置と認める。

● 総務福祉教育委員会

付託議案	審査結果	報告要旨
議案第60号 議案第62号 議案第61号 議案第64号	可決(全会一致)	国民年金法改正に伴うシステム改修業務委託料の追加補正など、他の付託議案とともに様々な意見がなされたが、必要な措置と認める。

越村 修 委員長

市役所は福祉、教育、観光推進など様々な仕事をしています。市民の皆様が安心して暮らせるまちをつくるには、市民の意見が市政に反映されなければなりません。本来は市民全員で話し合い問題を解決することが理想ですが実際には不可能なため、選挙によって市民の代表者である「市議会議員」と「市長」を選び市政を運営しています。年4回開催される定例会では、市政の重要案件を議決し市政を進めています。が「市議会の定例会ってどんな事を決

めているの？」市民の方よりこのような疑問が議論されているのか、広く市民の皆様に分かりやすくかつ、正確にお伝えする事をモットーに活発に取り組んでいるところです。

市民と議会との懸け橋の役割になりますよう心がけ制作してまいります。今後とも市民の皆様にお読み頂ければ幸いです。

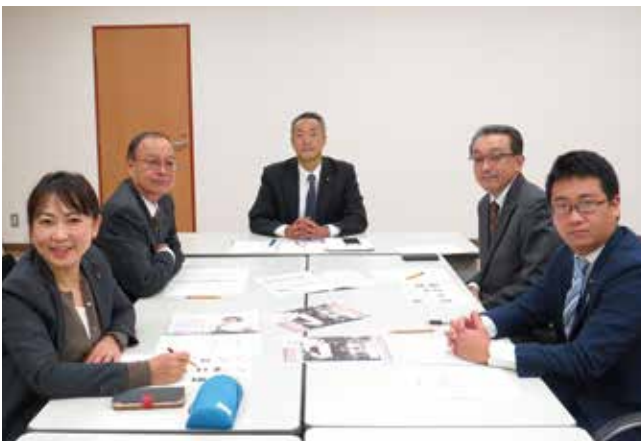


井沢共一 副委員長

議会だよりの役割については、市民の皆さんに、議会ではどういうことが行われているのか興味を持ってもらい、もっと知りたいという気持ちを引き出すことが、最大の目的だと思います。まず読んでもらうことが重要で、そのためにはどうすればよいか、編集委員が知恵を出し合い取り組んでいます。市民にわかりやすい、興味を持ってもらえる誌面にするにはどうすればよいか、議員の質問の内容をどのように伝えればわかりやすいの

かなど、考えて取り組んでいます。市民の皆さんには、是非とも議会だよりに目を通していただき、議員がどのような活動をしているのか、理解していただく一つの手段として活用していただければ大変ありがたいと思っています。

これからも、多くの市民の皆さんが議会だよりを待ち遠しく思っていただけのような内容を目指して、取り組んでいきたいと考えています。ぜひ、読んでください。



杉山利勝 委員

市議会議員の仕事はどの様なものがあるのでしょうか。皆さんは何を思い浮かべますか。皆さんが思い浮かべる仕事の一つには「どここの道路が」「側溝のふたが」「あそこの草刈りを」といった頼み事が多いと思います。

それらも勿論重要な仕事の一つですが、町内会長やその他の人でも、もしかしたらできることかもしれません。

しかしながら市議会議員でなければできない仕事があります。どの様なことがあるかというと、一つには条例（熱海市の法律）を作ったり、時代に合うように直したり、不必要になった条例を廃止したりすること。2つめは、「熱海市は今年はこの様に市民のためにお金を使いたいと思います」と市役所から提案された予算案を審議し、決めること。また、使われたお金を審査し認定することも市議会の仕事です。市民福祉の向上につながる行政運営ができていくか行政をチェックする機能は、市議会の重要な仕事の一つです。

その他にも、副市長、教育長、教育委員や人権擁護委員、固定資産評価委員等の選任に関しては、市議会議員の同意や諮問が必要になります。

和田翔平 委員

私が平成27年に議員に当選し、議会だより編集委員に就任してから4年が経とうとしています。初当選ということで、新人の議員はまずは議会だよりの編集委員をやる事が慣例になっているということ、右も左もわからないなか、編集委員に就任いたしました。

この議会だより編集委員会の使命は、行政の専門用語や日常ではなかなか使わない言葉が飛び交う議論の場である議会で行われていることを、市民の皆様にかにわかりやすくお伝えするかどうかと教えられました。

この4年間で、定例会に関する情報は当然のことながら議員の活動を報告する場としても活用して参りました。決してスペースに余裕のある冊子ではございませんが、その中で用語の解説やコラムや市民の皆様からの質問にお答えするコーナーを設けるなど、様々な試行錯誤をして参りました。

これからも広く市民の皆様にご愛読いただける紙面づくりを心がけて参りますのでよろしくお願いたします。

泉明寺みずほ 委員

まずは、この編集委員の「後記」の部分にまで目を通してくださっている事に感謝申し上げます。なぜなら、小説のあとがきならばともかく、冊子の最後に付いている後記にまでしっかりとご覧下さる方はそう多くはおられないと思うからです。我々委員は心を込めて書き記しておりますので、とても嬉しいことです。

さて、この任を仰せつかったのは議員になりたての時。あれから4年が過ぎました。4年といえば産まれたばかりの赤ちゃんが保育園、幼稚園に入って社会性を身につける、著しく成長する年月となるわけですが、市政においてはどうであったでしょうか。極めて伸び進んだものもありますが、停滞したまま課題解決に至っていないものもあります。

議会だよりは、議会の傍聴をされなくても、各定例会においてどの議員がどんな質問をし、どんな答弁をされたかを広く皆様に知って頂くことができます。しかし、限られた文字数の中でのお伝えのため、お分りいただきにくい部分もあるかもしれません。ご覧いただいて気になる言葉がございましたら、ぜひ議員へ質問してください。議会だよりを通して更なる会話の発展ができたとしてもありがたいことです。

これからもわかりやすい、見やすい紙面づくりを心がけて参ります。

